

ごあいさつ

秋涼の候、市民の皆様には、平素より、湖誠会に對しまして温かいご支持、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る9月通常会議では、平成28年度の各会計決算をはじめ、補正予算など計38議案を審議いたしました。昨年度は、総合計画第3期実行計画の締めくくりの年として重点施策の着実な実施と健全財政の堅持が図られた結果、実質収支は、昭和53年度以降、39年連続の黒字となりました。今後とも、市民福祉の向上に努めるとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう行政の監視機能を果たしてまいります。

また、市民の日常生活に密接に関わる公共施設の適正化については、少子高齢化・人口減少社会に対応し、将来にわたって持続可能なまち

づくりが求められている中、経費削減だけでなくそれぞれの地域の特性などを十分勘案し、より慎重な議論を積み重ねる必要があると考えております。

一方、長年の課題でありました大津びわこ競輪場跡地につきましては、民間活力の導入により多目的の広場を含め、公園の中の商業施設として整備が進められることになりました。

湖誠会では、大津市に住んでよかったと思えるまちづくりを目指し、17名の議員が丸となって全力で取り組んでまいりますので、今後とも、湖誠会並びに会派所属議員に對し、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

幹事長 竹内 昭夫

前列右より

青山 三四郎議員

武田 平吾議員

伊藤 茂議員

八田 憲児議員

竹内 照夫議員

仲野 弘子議員

津田 新三議員

鷺見 達夫議員

北村 正二議員

後列右より

川口 正徳議員

幸光 正嗣議員

桐田 真人議員

竹内 基二議員

中野 治郎議員

近藤 眞弘議員

伴 孝昭議員

草野 聖地議員

行政視察報告

千葉県流山市

「空き家対策、高齢者住み替え支援制度について」

人口が順調に増加を続けてきた大津市も、今やこれまで経験したことのない人口減少社会への分岐点を迎えている。

少子高齢化もさらに進行する中で、今後の超高齢社会・人口減少社会に対応していくためには、市民全員で危機感を共有し、新たな視点を持って、将来にわたって持続可能なまちづくりに取り組んでいくことが求められている。市民の皆様のご意見を反映させた「大津市都市計画マスタープラン」の策定をうけて、我が会派で

「空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行状況等」について、先進地である千葉県流山市を訪問し、今後の議員活動に資するべく研修を行った。



流山市においても、人口が集中しているのは主要駅近であり、大津市同様周辺地域は過疎化が進行しているように感じられ、空き家等及び法定外空き家等の適正な管理について必要な事項を定めることにより、市民の生命、身体及び財産の保護並びに良好な生活環境の保全を図ることを目的とし、市民が安心、安全に暮らすことのできる、まちづくりを講じていかなければならないと感じた。

千葉県千葉市

「災害時受援計画について」

本市では、大規模災害時に期待される他の自治体等からの支援を迅速かつ効果的に機能させるとともに、昨年度に策定した業務継続計画の実効性を高めるため、災害時受援計画の策定に取り組んでいるところであり、その参考とするため、すでに同計画を策定されている千葉市において行政視察を実施した。

災害時受援計画については、さまざまな災害協定を計画にに応じて締結し、自治体や民間企業、各種団体等からの支援を前提にした相互の連携協力を図りながら災害対応が的確に行えるよう議論、協議を行うことが重要であり、各都道府県や市町村がこれまで以上に、広域応援を念頭に置いた防災関係の連携強化や災害対

応における受援体制を予め具体的に定め、計画策定後には検証や実効性向上を目的とした防災訓練や図上訓練等を行う必要性を感じた。



また、当該計画は、受援側の負担を軽減する視点において重要であるといえるが、初めから全ての面において応援が来るという前提であると、平時からの備えが進まない懸念があり、本市においても職員の意識向上や現在進めている地区防災計画の策定推進を図りながら、地域防災力の向上を目指して行かなければならないと痛感した。

富山県富山市

「小中一貫的連携教育」について

富山市では、平成7年に中心市街地の児童数減少によりクラス替えできないことなどを危惧し、4小学校の統合を地域の要望が提出された。同一中学校区にあり、中学校の校舎建て替え時期であったこともあり、要望から十三年かけて検討し、平成二十二年に施設一体型小中一貫校が完成した。反対する声もあったが、地区センターを小学校区ごとに残すなど、地域コミュニティの維持をはかることで理解を得られた。

地域からの統合要望であっても、これだけの時間を要した事で、小学校が、地域コミュニティの核となる重要な施設であることを改めて認識させられた。

現在、大津市では、小中学校の規模適正化という課題をどのように解決するかを検討している。しかし、小中学校の統廃合については、教育視点や財政的視点だけでなく、地域コミュニティにとって、地域の核となる施設であることを認識した上で、児童生徒と保護者だけでなく、それぞれの地域住民全体の施設であることを踏まえた計画を策定する必要がある、そのためには、それぞれの地域で時間をかけた丁寧な議論と検討が必須と考える。



9月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。
詳しくは天津市議会ホームページをご覧ください。

Q 近藤 真弘議員

東部地域のまちづくりについて

瀬田駅南口広場の全体的な再整備や新快速の停車、東部地域の交通ネットワークの充実、慢性的な道路渋滞や周辺環境の変化による道路網整備の考え方について伺う。

A 瀬田駅南口広場の整備は、新生美術館や県立体育館の建設など周辺環境の変化も踏まえながら調査するとともに、併せて地域住民と意見を交換しながら、持続可能な交通ネットワークの再構築にも取り組む。新快速の停車は、市長から知事やJRに要望書を提出しており、道路整備は、必要性や周辺環境を見極めながら検討していく。

Q 青山三四郎議員

公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みについて人口減少社会に対応したコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを推進するためには、公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みについて伺う。

A 現在、三者協働によるデマンドタクシーや自動運転等、地域の特性に応じた持続可能な交通ネットワークの再構築に取り組んでいる。今後は、晴風台地区でデマンドタクシー実証運行を、葛川地域で自動運転の実証運行に向けた更なる検討を行なうとともに、地域公共交通網形成計画への反映と他地域で展開できる可能性を検討していく。

Q 草野 聖地議員

LINEでいじめの相談ができる

仕組みの試験導入について現在電話などで対応している「おおつこ相談チーム」ではなく、新たに委託しようとするのか伺う。また、試験導入はどのように検証・分析し、今度の導入判断されるのか伺う。

A 既存相談チームは多忙であり、LINEでの相談対応は困難と判断した。また、LINE相談対応については経験やノウハウが無いため、相談マニュアルの整備等も含め、外部機関へ業務委託する形とした。また、導入判断については、試験内容の分析とあわせて、他市や文科省の議論も含め、総合的に検討する。

Q 幸光 正嗣議員

災害対応の現状と今後の課題について

現在策定が進められている災害時受援計画について新たな協定を進めるとともに、災害時における本市の職員と地域との連携について伺う。

A 物資輸送能力向上を目的に本年10月に滋賀県トラック協会大津支部との防災協定を締結する予定であり、今後必要な協定締結に向け取り組んでいく。

また、「災害対策復旧活動連絡員」、「避難所担当員」、「初動支所班」が、住民からの要望を収集する窓口として相互に連携を図り、地域の訓練に参加することにより地域住民との連携を図っていく。

Q 竹内 昭夫議員

JR膳所駅南側駅前広場の調査検討の進捗と今後の予定について

平成28年11月通常会議の質疑・一般質問で、膳所駅南側駅前広場は今年度に調査予算を計上し、JR西日本との協議に必要な調査・検討を行うとの答弁であったが、現在の進捗状況と来年度以降も含めた今後の予定について伺う。

A 本年3月以降、JR西日本と調査に向けて4回の打合せを行い、駅周辺住民の利便性向上と、市内外からも多くの人を呼び込める計画を立てることの重要性を共通認識した。今後は人口動向や社会情勢について調査し、バス事業者とも協議を進めていく。

Q 川口 正徳議員

瀬田川に架かる橋梁の名称選定について

大津市南部田上地域の振興対策の一環として、田上地域にちなんだ名称を採択していただけたらと思う。市としても、滋賀県に働き掛けをすべきであると考えている所見を伺う。

A 市南部、田上地域の発展に寄与し、今回建設される橋梁につきましましては、地域のシンボリックな存在になるものと考えことから、橋梁の名称決定に際しましては、本市といたしまして、地域のご意向が取り入れられるよう、意見聴取の場等において述べるなど滋賀県に対し、要望をして参る。

Q 中野 治郎議員

琵琶湖の自然環境に関する教育の充実について

琵琶湖の固有種を守るためには、琵琶湖市民清掃やヨシの保存に加えて、水草除去やアオコ対策等による琵琶湖の環境回復が重要であり、合わせて子ども頃から自然体験学習等を行うなど、琵琶湖の自然環境に関する教育の充実について伺う。

A 市民によるヨシ保全活動と外来生物駆除の支援等により、生息環境の回復に取り組む。また自然体験型学習を通じて環境を理解し、適切に行動できる環境人とその指導者の育成に努める。今後とも長期的展望に立つて環境教育の推進に努める。

Q 伊藤 茂議員

養護老人ホームの建て替えについて

老朽化した養護老人ホームの大津老人ホームと真盛園の建て替えについて伺う。

A 第6期計画では、現在地か違う場所に新設するかが検討された。新たな場所での建設すると開発の問題があり、この解決が必要になるが、ようやく方向性が見えてきた。建て替え中に入所者をどうするか協議している段階で、第7期計画では、具体的なスケジュールを協議する。一方、本市の計画は介護保険に基づく施設計画、高齢者福祉計画で併せ持ったものであり、介護保険のサービスの見込み量と整合性も図りながらスケジュールの検討を行う。



※質問順に掲載しています。

会派トピックス

30年度予算に向けた勉強会を行いました

平成29年8月21日・22日両日にわたり、湖誠会から提出した「平成29年度の政策要望」についての進捗状況を確認するとともに、「平成30年度予算編成」における大津市の姿勢と主な事業について各執行部から説明を受け、意見交換を実施しました。

湖誠会の政策要望が反映された、より良い大津市政の発展に向けて、具体的な議論がされました。



平成30年度「政策要望」を市長に提出

平成30年度予算編成にあたり、湖誠会として市長に対し、151項目にわたる「政策要望」を提出しました。市民の皆様が安心して住み続けることができる活力ある大津市を目指し、今後も全力で取り組んでまいります。